

も り み ん だ よ り

第81号

令和8年5月8日発行

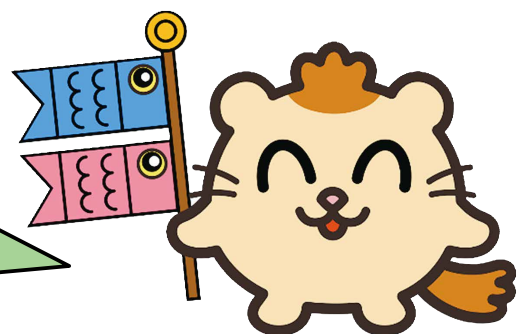
広島県 安芸太田町議会



安芸太田町議会
ホームページ



4月12日修道保育所に行ったよ！
同じ2歳の3人、自然の中で嬉しそう
に遊んでいたよ。
みんなに会えて、楽しかったよ。



3月定例会を終えて



安芸太田町議会議長
中本 正廣

今期定例議会は3月6日に開会し、3月12日までの7日間で行われ、3月9日、10日の2日間に10人の議員による一般質問が行なわれました。

また、令和8年度、新年度予算では、予算審査特別委員会を設置し、三つの重点方針として、人口減少の抑制、人づくりの推進、DXの推進をあげて、既存の事業の削減を行うなど、町税収入等の歳入規模に見合う歳出予算とし、危機感・緊張感をもって臨むとした予算案について、3日間審査を行いました。いずれも原案どおり可決しました。

その他の議案審議では「町道の認定」、「町道の路線変更」、「条例の制定及び改正」、「安芸太田町過疎地域持続的発展計画の策定」、「令和7年度会計補正予算」等の議案を審議し、いずれも可決しました。

令和8年度予算

一般会計予算総額 93億1,000万円
(前年度比 +4億6,000万円 +5.2%)
— 合併後、最高額の予算となりました。—

大型予算の要因 となった事業

- 道の駅「来夢とごうち」再整備事業 9億3,083万円
- 加計スマートICフルインター化事業 1億4,100万円
・3企業会計への繰出金(補助金)の増加
- 安芸太田病院事業の運営補助金 4億1,590万円
- 上・下水道事業の運営補助金 4億1,000万円

●安芸太田町基金（貯金）残高

安芸太田町の基金残高は、ここ数年減少傾向で、令和7年度決算次第では、基金（貯金）の大幅な減少となります。今後、基金残高に注視が必要です。

(単位：千円)

基金	令和6年度	令和7年度			令和8年度		
	年度末残高	取崩見込	積立見込	年度末残高	取崩見込	積立見込	年度末残高
財政調整基金	3,158,966	502,159	22,722	2,579,529	296,894	9,005	2,391,640
減債基金	403,696	0	13,605	417,301	47,883	1,372	370,790
地域振興基金	319,411	4,065	836	316,212	5,531	1,072	311,753
まちづくり基金	982,817	181,331	1,703	803,189	113,253	2,514	692,450
過疎地域発展基金	164,577	106,322	100,812	159,067	98,894	98,442	158,615
ふるさと未来・夢基金	311,464	252,823	250,264	308,905	280,525	271,058	299,438
合計	5,340,931	1,046,700	389,942	4,584,203	842,980	383,463	4,224,686

新年度主要事業

子育て・教育・次世代育成

新規 小学校給食無償化事業

1,300万円 (教育課)

本事業は、国の「学校給食費負担軽減支援事業」を活用（不足分は町が負担）することで、子育て世帯の経済的負担軽減、栄養水準の確保や地産地消の推進など、「給食の質の向上」に向けた取り組みを推進するため実施するものです。

「なお、中学校の給食費については、本事業の効果や課題の整理を行ったうえで、検討する。」

【事業内容】 小学校分食材費（賄材料費）1,300万円 ・うち、国からの支援金 972万円

継続 新・教育大綱の実現

815万円 (教育課)

令和7年度には、町内全保育所・認定こども園において、「広島保育認定制度」を受けることができました。

【事業内容】

- ・フィールド環境整備（園庭整備等） 438万円
- ・園外活動（アドバイザー訪問指導等） 249万円
- ・研修・現地視察等 128万円

【予算審査特別委員会における議員からの質問や意見】

小島 俊二議員：給食費完全無償化事業について、課題や効果の視点は何か？

大江 昭典議員：自然保育に協力隊員をしっかりと活用してほしい。

生活利便性・環境

新規・拡充 浄化槽設置整備事業（浄化槽更新補助金の新設）

251万円 (建設課)

合併浄化槽の新規設置や汲み取り・単独浄化槽からの転換に対して、設置補助を行ってきました。令和8年度からはこれに加え、古い合併浄化槽から、新しい合併浄化槽への更新に対しても補助金を交付します。

	人槽	設置補助	更新補助		人槽	設置補助	更新補助
加 計	5人槽	442,000	295,000	戸河内	5人槽	463,000	309,000
加 計	7人槽	570,000	380,000	戸河内	7人槽	597,000	398,000
加 計	10人槽	878,000	552,000	戸河内	10人槽	864,000	576,000



【予算審査特別委員会における議員からの質問や意見】

宮本 千春議員：浄化槽設置補助について、加計と戸河内のように地域によって補助額が異なる理由は？

コミュニティ

新規 松原地区複合拠点施設

1,200万円 (地域協働課)

旧松原小学校跡地に「移住体験機能を併せ持つ交流施設」を整備し、関係人口の拡大や子育て世代の移住促進に向けた実証拠点として、地域と一体となった交流の基盤づくりを進めます。

- 【事業内容】
- ・設計費・ワークショップ 1,200万円
 - ・財源 地域未来交付金（国庫補助金） 500万円
 - ・辺地債、過疎基金等 700万円



松原拠点施設予定地

【予算審査特別委員会における議員からの質問や意見】

影井伊久美議員：公平性というところからみると、ほかにも閉校した施設はあるので疑問に思う。

大江 厚子議員：去年は話が出ていなかったが、今になった出てきた理由は？

継続 安芸太田病院事業への運営補助

4億1,590万円

(病院事業)

病院事業については、在り方検討委員会において、今後に向けた方向性が示されませんが、看護師等の確保についての課題もあり、議会としても特別委員会等で調査する等、病院の運営について継続調査を行う必要があります。

【病院事業への繰出金について】

- ・ 3条予算分補助金（事業運営） 39,890万円
- ・ 4条予算分負担金（施設整備等） 1,700万円



【予算審査特別委員会における議員からの質問や意見】

小島 俊二議員：病院への補助は必要だが、その基準を明確にしておく必要があるのでは。

大江 厚子議員：病院存続についての見極めが必要なのでは。

佐々木道則議員：国による病床削減に対する補助制度で一床につき410万円の補償があると聞いたが、年数のしぼりがあるのか？

社会基盤・防災・防犯

継続 加計スマートICフルインター化事業

1億4,100万円

(建設課・企画DX課)

加計スマートインターフルインター化後、災害時の利活用は向上するが、通常時の利活用策の検討が必要です。

【事業内容】

- ・ 詳細設計業務 1,000万円
- ・ 土地購入 2,000万円
- ・ 負担金（県・NEXCO） 2,000万円
- ・ 移転補償等 8,500万円



【予算審査特別委員会における議員からの質問や意見】

末田 健治議員：加計スマートIC移転補償は、今年度ですべて終わるものなのか、それとも新年度に渡るものなのか？

生活利便性・環境

継続 清流太田川推進事業（河川環境の整備）

86万円

(建設課)

透明度の低下については、排出水の影響を否定できないことから、令和8年度は専門家を招致し、水質改善に必要な取組みを調査・検討をしていきます。

【事業内容】

- ・ 太田川水質検査業務委託 86万円



【予算審査特別委員会における議員からの質問や意見】

末田 健治議員：太田川清流の復活について、AからAAへの取組みにおける水質調査をしっかりとっていくことと、水質調査の結果において、塩素系のものが阻害していることが明らかになった際には、ネクスコのほうにも排除の申し入れをして欲しい。また、太田川の上流である安芸太田町の取組みを、下流の広島市民の人達にも強くアピールをしていてもらいたい。

新年度主要事業

産業・観光・しごと

継続 道の駅再整備PFI事業

9億3,083万円

(道の駅推進チーム)

本町の観光・産業を飛躍的に向上させる拠点として、公民連携(PFI)により、道の駅「来夢とごうち」の再整備を進めています。令和8年度は、既存建物や構造物の解体後、新しい駅舎の建設工事を進めるとともに、既存・新規出店事業者の積極的な誘致を行い、令和9年度内の円滑な開業に向けて調整を進めてまいります。



拡充 小規模農業者等活性化支援事業 (太田川産直市支援)

1,004万円

(産業観光課)

道の駅再整備後、地域の新鮮な農産物を販売する太田川産直市は観光客の主たる「目的地」になることが考えられます。そのため新規出荷者の登録を増やすためのキャンペーンや野菜の講習会、生産者の営農を直接指導するアドバイザーの配置などを実施し、安定的な生産量を確保し、売上げの向上につなげられるよう、さらなる活性化への取組みを進めます。



【事業内容】

太田川産直市活性化事業 1,000万円

継続 サイクルツーリズムの推進 ウォーターアクティビティの推進

1,068万円

(産業観光課)

本町の強みである豊富な森林資源を活かしたアウトドア・アクティビティのコンテンツ開発を進めるため、広島県と連携し、新たなサイクリングコースの開発やガイドの育成等、里山ならではのサイクルツーリズム推進に向けて、取組みを強化します。

また、北広島町と合同による、やまがたサイクルイベントを継続開催し、やまがたエリアでのサイクリングの魅力発信に取組みます。



【事業内容】

- ・里山サイクリング拠点づくり推進事業(コース調査、ガイド育成講習等) 248万円
- ・やまがたサイクルツーリズム推進協議会負担金 120万円
- ・ウォーターアクティビティ推進事業補助金 700万円

【予算審査特別委員会における議員からの質問や意見】

末田 健治議員：現在の道の駅出店者については、出荷者数が圧倒的に少ないと思うので、オープンに向けて、出荷者を増やす準備が大事だと思う。

佐々木道則議員：小規模農業者活性化支援については、施業計画が絡んでくるため、個人で国の補助を受けるにはハードルが高い。町独自の補助制度を考えるべきでは。

影井伊久美議員：道の駅再整備後、今よりも客層が若い人が増えてくることを予想する。若い層の財布のひもが緩むような、また若い人の購買意欲を生むような産直市の体制も考えていかなければならないと思う。

小島 俊二議員：サイクルツーリズムを推進されているが、数値目標を設定して、安芸太田町にプラスになるのかを明確にしておいていただきたい。

非予算 加計商店街の活性化

●検討内容

- ①空き店舗バンクの仕組みづくり
- ②スキマバイトの仕組みづくり

●検討体制

- ・庁内関係課を横断したチームを設置し、令和9年度以降の事業実施に向けた事業スキームを検討する。

▲関係課等

加計支所、企画DX課、地域協働課、産業観光課

加計支所・企画DX課 等



加計商店街

非予算 ゴミ処理事業の民間委託化

衛生対策室

- 「ポックルくろだお」は老朽化が著しく、ごみ排出量も減少傾向にあることから、事業の継続性を確保するため、今後は、施設を閉鎖したうえで、事業の民間委託に向けた具体的な検討を進めて行く予定です。

●今後のスケジュール

- ・ポックル施設
(令和8年度末の施設廃止を予定している。)
- ・民間委託準備(詳細調整、業者選定・調整)
- ・住民への周知(施設地元説明、振興会説明、広報等)



ポックルくろだお

【予算審査特別委員会における議員からの質問や意見】

小島 俊二議員：加計商店街の活性のため、加計地区の定住賃貸住宅の建設を検討してみてもは。また、旧加計駅前では、現在たい焼き屋への来店やJOCAの運営などにより、月1万人の人が出入りしている状況なので、旧駐輪場の再整備事業など賑わいをさらに増幅させる取組みに期待したい。

宮本 千春議員：加計商店街の活性化について、イメージをもって早めの行動に移していただきたい。

3月定例会 主な条例関係

議案第12号

安芸太田町企業誘致促進条例の一部改正について

- 一定規模の固定資産投資を行った商工業事業者等が、町外からの定住の意志を持って転入し、常勤として従業員を雇用した場合に奨励金を交付する等の規定を定めるため本条例の一部を改正

議案第13号

安芸太田町簡易水道事業給水条例等の一部改正について

- 安芸太田町上下水道料金審議会からの答申による、簡易水道事業の料金改正に伴う条例の一部を改正

予算審査特別委員会 委員長審査報告

審査委員会は議長を除く全議員で構成され、3月12日、13日、16日の3日間にわたり慎重に審査いたしました。

採決の結果、本委員会に付託された全議案、全会一致で原案のとおり可決しました。予算審査における委員からの指摘・要望事項等については、以下のとおりです。



委員長 大江 昭典

予算審査特別委員会に付託された議案

■条例の制定及び改正関係

安芸太田町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定 外8議案

■令和8年度予算関係

令和8年度一般会計予算のほか、6つの特別会計及び3つの公営企業会計



予算審査特別委員会 審査の様子

予算審査における委員からの指摘・要望事項（抜粋）

1. 子育て支援などは、他の町では5,000万円を拠出する施策もある中で、もっと特色をもって予算を活用しても良かったのではないかと。
2. 安芸太田町の魅力あるスキーを、できるだけ多くの方が体験できるような取組みを検討しては。
3. 「森のようちえん」については、明確な理念と目標をもって取組み、協力隊員や地域のスキルを持つ人材を自然保育に積極的に活用し、学校教育とともに、子どもが少ないことを理由に質を下げることではなく、少人数だからこそ成長年齢を問わず、均等・公平、かつ手厚い教育の実現に注力すべきでは。
4. 加計高校支援事業では、受験生の増加に伴う定員増の際にも、寮の男女利用定数に支障とならないように、支援を工夫しつつ、留学やクラブ支援に特化した後援会頼みではなく、町費の活用も含めた特色づくりと基盤強化を進める中で、大学進学や部活動支援では、町内中学校でもある野球部をはじめとする部活動にも力を入れて町内受験生増加を図られては。
5. 病院への補助では、公営企業法施行規則等に基づく起債償還割合など、どのような基準があり、基準内がどの程度なのかを明確にして、住民さんに示せるようにしておく必要があるのでは。
6. 空き家解体補助事業では、令和7年度の補助金減額が解体件数減少の一因と考えるが、令和8年度の状況を見ながら、令和9年度以降の補助金額を検討してみてもは。
7. 路線バスでは、広島市内を結ぶ広島電鉄や高速バス路線が撤退しないよう、引き続き緊密に連携して取組んでほしい。
8. 小規模農業者活性化支援では、施業計画が絡み、国の補助を個人が受けるにはハードルが高く、小規模農業者にはなじまない可能性があるため、町独自の補助制度を検討してみてもは。

新年度予算で各議員が課題(課)・評価(評)とする事業はこれだ!

議員	課題・評価	令和8年度予算に係る感想・所管
 <p>笠井 清孝議員</p>	<p>課 未利用施設の活用では、現在活用されていない施設に関し、今後の活用施策やスケールなどの「見える化」が必要である。</p> <p>評 安芸太田町の強みである自然を活かした幼児教育に対し、予算を増額することで、定住・移住者の増加が期待できるのではないかと。</p> <p>評 小学校の給食費無償化は評価できるが、中学校での無償化実現が今後の課題である。</p>	<p>道の駅や加計ICへの多額の歳出を経て、今後の持続可能な安芸太田町を実現するためには、予算の有効活用について町民の皆様と共にしっかりと議論する場を設けていくことが重要であると考えている。</p>
 <p>田島 清議員</p>	<p>課 防災インフラの整備。 ・避難所の整備や耐震化 ・住民への防災教育・訓練 ・災害時の医療・避難支援体制の強化</p> <p>評 太田川の自然と調和した快適な環境づくり。もりカー運行、定額タクシー運行で利便性向上。</p>	<p>太田川の清流や「もりのようちえん」など自然を育てる予算を評価する。</p> <p>防災インフラの整備、異常気象など自然災害対策を問う予算となっているか継続的に見直すことが、町民の安心安全を守るために非常に重要。</p>
 <p>宮本 千春議員</p>	<p>課 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の使い道。</p> <p>評 定額公共交通（もりカー、介護タクシー、ライドシェア）への支援。</p> <p>評 クラブ活動の地域移行に向けた地域おこし協力隊の配置。</p>	<p>将来の目標や方向性を整理するような少額又は非予算の事業こそ、しっかりチェックしていくことが重要だと感じた。</p> <p>住宅適地の調査や商店街活性化に向けた連携チームの設置など、今後の動向に注目していきたい。</p>
 <p>大江 厚子議員</p>	<p>課 「もりみんな山のこどもえん」の保育について、理念や目標を明確に設定することが必要である。</p> <p>課 病院・上下水道、教育・保育等について、町・県・国の役割と責任を整理・検証するとともに、住民が意見を表明できる場を設けることが必要である。</p> <p>評 デマンド交通「もりカー」について、使い易さと経費との均衡を追求し、改善していることは評価する。</p> <p>評 持続可能な集落支援モデル事業の1年延長は評価する。今後の維持や他地域への展開は、この1年の取組みにかかっている。</p>	<p>自主財源の割合が低い本町の財政状況の中で、大型事業の本格化を伴う予算編成は極めて厳しいものである。</p> <p>しかし、本来行政の役割である次世代の育成と住民生活を支える基盤の維持が損なわれないようさらなる検証を求めたい。</p>
 <p>末田 健治議員</p>	<p>課 周辺集落の維持対策、農地保全対策。</p> <p>評 この地域で子育てがしたいと思う人の割合が増加している。</p> <p>評 清流太田川復活の取組みが継続されている。</p>	<p>もりみんな山の子ども園事業等次代を担う子育て対策は少子化の進む安芸太田町にとって極めて重要である。</p> <p>子育て教育予算、次世代育成予算が拡充されており評価すべきと考えます。</p>

新年度予算で各議員が課題(課)・評価(評)とする事業はこれだ!

議員	課題・評価	令和8年度予算に係る感想・所管
 <p>佐々木道則議員</p>	<p>課 公共施設管理計画（個別計画の取組）について。</p> <p>課 安芸太田病院事業について。</p> <p>課 中学校給食の無料化について。</p> <p>評 定額タクシー制度の普及について。</p>	<p>公共施設管理計画（個別計画）については、町民に対して丁寧な説明が必要である。</p> <p>安芸太田病院事業については、あり方検討委員会の報告に基づいた診療体制の早期構築。</p> <p>中学校給食無料化については、早期に実施できるよう取組みを進めてほしい。</p>
 <p>影井伊久美議員</p>	<p>課 現在この町で子育てをしている世代が日々感じている課題への対応、また学校や園所施設の環境整備など、基本的な子育てや子どもの環境を着実に整える必要がある。</p> <p>評 「もりみん山のこども園事業」「移住定住促進事業」など、本町の自然環境という強みを活かした取組み。</p>	<p>今この町で暮らしている住民の暮らしや子育て環境、子ども達が日常的に過ごす環境の改善に向き合う必要がある。</p> <p>「内部定住」と「外部流入」の両輪が揃って初めて、持続可能な町づくりになると考える。</p>
 <p>大江 昭典議員</p>	<p>課 筒賀拠点事業について。</p> <p>課 清流太田川推進事業について。</p> <p>課 公共施設等総合管理計画の推進について。</p> <p>評 新・教育大綱の実現について。</p>	<p>全体的に、一定の評価と期待はするものの、項目や事業内容によっては、中長期的な視野を持って、事業課題の実現性（方向性）を、継続注視していく必要性を感じる。</p>
 <p>小島 俊二議員</p>	<p>課 3企業会計への繰出金の増。</p> <p>課 地域商社への補助金の繰越。</p> <p>評 小学校給食費無償化・合併浄化槽更新補助金の創設。</p>	<p>病院事業、簡易水道事業、下水道事業の3企業会計合計で、8億2,590万円の繰り出しがあり、3企業会計の経営について、注視していかないと、一般会計への影響の増加が将来の課題。</p>
 <p>津田 宏議員</p>	<p>課 道の駅のリニューアルやスマートICの整備など、町の未来につながる大きな事業が進んでいます。</p> <p>ただ、利用者がどれくらい増えるのか、維持費がどれくらいかかるのかなど、将来の負担や効果をしっかり見極める必要があります。</p> <p>評 「未来への投資」が明確に位置づけられており、町の将来像に沿った重点化が図られている点は評価できる。</p>	<p>令和8年度予算は「総合ビジョン初年度」として攻めの投資を行う一方、財政構造の脆弱性・基金依存・公債費高止まりという根本課題は依然として重い。</p> <p>短期的には事業効果の最大化、長期的には財政再建の道筋をどう描くかが最大の論点。</p>





佐々木 道則 議員



大江 昭典 議員

10人の議員全員が質問・提言

一般質問は、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。1人当たりの持ち時間は、答弁を含めて60分です。3月定例会では、3月9日、10日の2日間10人の議員全員が質問を行いました。

番号	議員名	質問内容（抜粋）
1	宮本千春	●参加しやすい選挙の執行体制について ●加計のショッピングセンターの存続対策について (ほか3問)
2	大江昭典	●町行政について ●地域振興について (ほか1問)
3	小島俊二	●筒賀拠点施設整備事業について ●令和8年度予算について
4	末田健治	●令和8年度予算について
5	佐々木道則	●令和8年度予算について ●中期財政計画について (ほか1問)
6	影井伊久美	●令和8年度当初予算案について
7	大江厚子	●持続可能な集落支援モデル事業について ●島根原発におけるプルサーマル計画、広域避難体制について
8	田島清	●道の駅～太田川森林組合までの上水道本管の整備について ●防災訓練の充実強化について (ほか1問)
9	笠井清孝	●各施設の現状と今後について ●安芸太田町における6次産業の現状と今後について
10	津田宏	●水道料金改定と水道事業の持続可能性について

一般質問



宮本 千春 議員

問

安芸太田病院への期日前投票所
設置の考えは



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。

総務課長

経費の総額や、立会人の確保
等も考慮し総合的に検討する

■参加しやすい選挙の執行体制について

問 直近の衆議院議員選挙の投票状況は。

答 総務課長

投票率は62.72%、期日前投票者はそのうち36.15%。

期日前投票が最も多かったのは加計中央投票所で投票者の78.57%でした。

問 ショッピングセンターや安芸太田病院での期日前投票の可能性は。

答 総務課長

期日前投票所では、二重投票防止のため行政専用のネットワークを活用しているが、ショッピングセンターなど民間の施設で活用するためには設備投資が必要となります。

他方、安芸太田病院にはこのネットワークが設けられていることから、選挙執行経費の総額や、なり手不足である投票管理者及び投票立会人の確保等も考慮し、総合的に検討を進めます。



坪野投票区投票所

◎提言

まずはハードルの低い安芸太田病院での期日前投票所の設置を次回の選挙時には、社会実験のつもりで実現いただきたい。

■加計のスーパーの存続対策について

問 加計ショッピング協同組合では新建屋の構想を持っているようだが、これを起点として、中心市街地や町全体の再整備を一体的に考えていく考えはないか。

答 総務課長

スーパーの建て替えは、一義的には運営主体において、お考えになるものであり、中心市街地等の再整備を町主導で行うことは考えておりませんが、民間から具体的な相談等があれば、どういった支援が出来るのか、研究したい。

問 これからの地域を担う若者世代と、将来のスーパーの在り方やまちづくり全体について、意見を共有していく場を設ける考えはないか。

答 町長

スーパーのみならず町内店舗の存続を考えた時、住民参加で取組むべきは、そうした店舗を「積極的に利用し、応援しよう」という機運を盛り上げていただくことではないかと考えます。

その他の一般質問項目

・公共交通への自動運転技術の導入について ・公共施設等総合管理計画について

問

町長公約「本町らしい教育を追求し、子育て世代の確保」の取組状況を問う



大江 昭典 議員

町長

本町ならではの教育のブランド化を目指していきます



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

問 町長公約（マニフェスト）の中で、「本町らしい教育を追求し、子育て世代の確保」について、町長自らの自己評価としての取組状況、成果、展望を問う。

答 町長

本町らしい教育という観点で、教育大綱の策定から取組みを始め、森の幼稚園事業については、「もりみん山のこども園～こもれびの森のひみつきち」という愛称のもと、広島自然教育認証制度の認証団体として、町内の全所が対象になり、将来的には、これが移住定住を進める上で、切り札の一つとして、子育て世代の確保につなげるため、情報発信にも力を入れるとともに、教育大綱に盛り込んだ、他の取組みも進められるように、学校の先生方の資質向上に向けた取組みも、8年度予定をしております。また、7年度からの学校園所支援ボランティア制度や、協調学習の取組みを継続することで、本町ならではの教育のブランド化を目指していきます。



ひろしま自然教育 認定証

●大江昭典議員

従前から、町のアピール、広報の希薄性について提言しているが、その重要性から、正しく効果的な情報発信に、力を入れていただきたい。

■「太田川清流復活」施策状況を問う

問 水質目的と生態系調査では、水質検査における検体採取の方法も違うが、今のやり方で大丈夫なのか？

答 町長

ご指摘頂いたように、自然由来の有機物が増えているのは間違いありません。それが、現状の河床に影響を与えて、環境が変わってきている可能性もあると思っております。

まずは、この水質を上げていくということは、決して二つを相矛盾するとは思っておりませんので、まずは水質基準を上げていくことに、8年度は取組みをさせていただきながら、今後は、魚が多く住むような生態系も視野に入れていきたいと思っております。

●大江昭典議員

ぜひ、透明度と、魚の減少問題は、同時に進めてもらいたい。

◎提言

リーダーシップという言葉は、一般的には導く「指導力」をさしますが、昨今では、新しく動く力、動き始める力、「始動力」との考え方が示されており、この考え方は、地位とか役職に関係なく、誰もが持てる力と解釈できます。町行政を、縦横一丸となって進めていく上で、職員一人一人がリーダーシップを意識しながら、取組んでもらいたい。



小島 俊二 議員

問

令和8年度新規事業について 問う



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

- ・ 小学校給食費の無償化事業
- ・ 合併浄化槽の更新に対する補助制度の創設

■新年度の新規施策について問う

問 橋本町政2期目後半線に向け、令和8年度予算において重点を置く新規施策は何があるのかを問う。

答 町長

道の駅再整備事業の予算が大きく膨らむということもあらかじめ分かっておりました。あえて新規政策については、抑制をしてきたところでございます。

新規施策として御紹介をさせていただくと、国の支援を頂いて取り組む小学校給食費の無償化事業、合併浄化槽の更新に対する補助制度の創設、町内主要交差点への防犯カメラの設置、それから定額ライドシェアの開始、「ポックルくろだお」の廃止を前提とした、ごみ処理事業の民間委託化、あるいは町内企業の移住者雇用に対する新たな奨励金の創設などが挙げられると思っております。



合併浄化槽更新補助金

	人槽	設置補助	更新補助
加 計	5人槽	442,000円	295,000円
加 計	7人槽	570,000円	380,000円
加 計	10人槽	828,000円	552,000円
戸河内	5人槽	463,000円	309,000円
戸河内	7人槽	597,000円	398,000円
戸河内	10人槽	864,000円	576,000円



筒賀福祉センター周辺施設

■筒賀拠点施設整備事業について

問 当初の計画であれば、役場の支所、図書館等の全ての公共施設が新しい拠点施設に入って、住民の方のワンストップサービスが可能になる施設になるという予定であった。

しかし、事業の見直しによって、分散した施設となった。この新しい事業として、建設する意味合いが果たしてあるのかどうかを問う。

答 町長

新しい施設をつくるのであれば、ワンストップサービスで提供できるように、様々な行政機能は、新築地に集めたいという意図は最初あったわけですが、結果的に、地域の皆様は、それを否定されたというふうに私自身は思っておりまして、やはりワンストップサービスという利便性以上に筒賀支所は、今の建物の中に筒賀支所があるということが、重要なのだということを判断されたと私自身は受け止めているところであります。



自治会機能強化の取組みを問う



末田 健治 議員



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

地域づくり補助金を継続します

問 多様な産業構造への転換と特産品振興について。

答 産業観光課長

道の駅再整備に向けた準備を最優先課題と考えている。特産品の開発支援に関して令和8年度は制度拡充を考えています。加計スマートICは企業誘致の可能性も高まり、就業転入者を対象とした奨励金を新設する考えです。

問 地域コミュニティの強化・自治会と地域づくりについて。

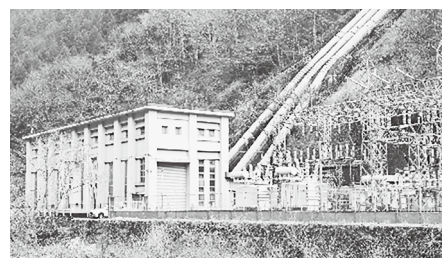
答 地域協働課長

集落支援モデル事業を踏まえ、ゴミ出し支援、オンライン巡回診療、買い物支援の実証事業を継続していきます。地域活力維持向上を図るものとしては、筒賀拠点推進事業、松原地区複合施設整備事業ほか地域づくり事業補助金を継続します。

問 地域資源の活用・太田川の清流復活予算は。

答 建設課長

打梨発電所上流下流3カ所から採水を行い調査を実施しました。菌、重金属等の特殊な汚染等はなく、一定の水質基準をクリアしています。新年度は水質基準AからダブルAを目指し、透明度と大腸菌の調査に絞り、時期と箇所を専門家に相談して調査を行ってまいります。



打梨発電所

問 子育て・移住対策予算について。

答 地域協働課長

令和8年度に子育て応援全力安芸太田ツアーを予定している。広島市の子育て世帯をターゲットに安芸太田の自然体験として、安芸太田の未就学から中学、加計高校まで広く子育て世帯と移住者向け補助金を一本化し、定住応援補助金を創設します。

問 子育て移住について、長期戦略を伺う。財政力のある自治体と同じ土俵で競うのではなく、本町の強みである太田川の清流や森の幼稚園といった豊かな資源を活かすべき。地道に邁直に安芸太田町らしさを追求することが結果として移住定住者の共感を得ると考えるが見解を伺う。

答 町長

観光や森のようちえん事業についてはまだまだ、磨きをかけていく必要があり、他地域と差別化したと言える中身にはならないと思っています。本町の恵まれた資源である自然を活かす取り組みを続けていく考えです。



佐々木道則 議員

問 当初予算編成の方針は



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

ビジョンにある重点施策に、戦略的に力を入れていく

問 当初予算編成における重点事業は。

答 町長

道の駅再整備事業、森のようちえん事業は重点施策の中でもこれから本町として磨きをかけていきたい分野、戦略的に力を入れていきたい分野だと思っており、別に8年度の予算では過疎地域ナンバーワンの本町としては連続して取り組んでいる集落対策と合わせた三つの事業は注目すべき事業だと思っています。



道の駅整備事業の整備予定地

問 次期中期財政運営方針に係る対応状況は。

答 総務課主幹

時期方針中は、道の駅の再整備事業の大型事業が本格化、終了といった期間中ではあるが、今後の見通しを踏まえながら持続可能な財政運営のために必要な取組み、財政推計を行い達成すべき目標をしっかりと設定させ財政運営に努めていきます。

現行 中期財政運営方針▶



問 病院あり方検討委員会の報告に対する町長の所感は。

答 町長

15年後のことを考えるとダウンサイジングを避けられないということで、検討された報告書を頂きました。

戸河内診療所との統合については、最終的には審議会からの御指摘もありましたので、戸河内診療所の問題については、地域の皆さんの思いは分かっているつもりですので、統合の時期について患者さんの推移等をこれからしっかりと見た上で慎重に判断をしていきたいというふうに思っております。



安芸太田病院

問 選択と集中をどこに絞られたか



影井伊久美 議員

町長

「道の駅の再整備」と「もりみんな山のこども園事業」を磨き上げていく



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

■令和8年度予算案について

問 「こども、若者、子育て世代に関連する予算について」

他市町のような制度と同様に運営していくことは非常に難しいことと承知をしている。しかし本町独自の制度ができないか、研究していかれるものと認識しているが、地道に子ども達や子育ての環境など土台となる部分を整えられる考えは？

答 町長

他の市町と比べて足りない部分もありますが、難しいという側面もあります。こういう形にしたらどうか？という取組みが、改めて必要と感じています。どういう取組みができるのか、考えていきたいと思っています。

問 こども1人当たりで充当される予算は幾らぐらいになるか？

答 総務課主幹

概ねですが、18歳以下のこども1人当たりで、大体150万円程度が今の予算規模の割戻し額になります。

答 町長

改めて、こういう比較も意識しなければならないことを感じています。具体的な数字150万円というのが多いのか少ないのか勉強させていただければと思います。

問 将来世代への投資という視点はどのように位置づけられたか？

答 町長

「もりみんな山のこども園事業」が一つ大きな本町の特徴であり、そういうところで差別化をしていきたいと思っています。

本町でなければ体験できない部分を、伸ばしていく取組みを差別化という意味で進めなければいけないと感じています。



修道保育園





大江 厚子 議員

問

安心して暮らし続けられる
地域を目指すには



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。

町長

地域包括ケアシステムと個
別施策を融合

問 持続可能な集落支援モデル事業について問う。

答 地域協働課長

■ごみ収集は、集落支援員の巡回地域に声かけをし、5名の希望者に民間事業者が収集します。

■買い物支援は、とごうちストアが3カ所のサロンへ移動販売を行い、民間移動販売車へも1カ所追加を依頼しています。

■オンライン診療は、9月から11月の実証期間中延べ10名が利用しています。

■とごうちストアは、客単価は向上しているが来客数は足踏みの状態です。

■松原地区拠点施設整備構想は、民間業者に委託し地域住民とワークショップを実施、基本構想を作成します。

問 とごうちストアは、買物機能を支えるとともに、人が集まる場の側面も持つ。実証事業終了後の支援はどうか。

答 副町長 独立経営が見込まれない場合、継続は厳しい状況になります。町民の方々に、広くかつ日常的に利用頂ける状況をつくり出せるかが鍵です。

問 集落支援は、住民の声を丁寧にすくい取ることから始まる。地域協働課、健康福祉課、社会福祉協議会、集落支援員の連携は重要と考える。町の見解はどうか。

答 副町長 企画立案の段階から、各関係課・団体と議論を行っています。

■島根原発に対する本町の捉えについて

問 中国電力は島根原発2号機で、2029年度MOX燃料によるプルサーマル発電を計画している。原発から約120kmに位置する本町として、どう認識しているか。

答 町長 事故については危惧するが、国・中国電力には安全対策を十分とっていただきたいと思えます。

問 原発災害時の広域避難協定により、本町は出雲市阿宮地区住民の受け入れ先となっている。受け入れ体制の整備状況等はどうか。

答 総務課長 約470人を想定し、本町の施設8カ所が協定の中で避難所に記されています。今後、訓練参加の検討と避難所環境の整備を進めます。

問 使用済み核燃料の再処理により日本のプルトニウムの保有量は約46トンで、数千発の核兵器燃料に相当する。非核平和宣言を掲げる本町として国の原子力政策について伺う。

答 町長 全てを再生エネルギーで賄うのは現実的に難しいと承知します。原子力政策は安全に十分配慮して進めていただきたいと思えます。



島根原子力発電所



防災訓練の充実強化について 日頃からの備えを！



田島 清 議員

町長

旧殿賀小学校の跡地利用した防災 イベントの可能性も検討



こちらのQRコード
から中継映像もご覧
いただけます。



旧殿賀小学校

問 東日本大震災から15年目となる。「災害は忘れた頃にやってくる」日頃からの備えについて旧殿賀小学校を防災訓練場として活用出来ないか。

答 町長

提案の旧殿賀小学校を利用した訓練会場としての利用については、全町としての取組みとしては狭いと思われれます。防災イベントとしての利用の可能性は検討します。

旧殿賀小学校跡地利用が決まるまでの一時利用については、避難訓練の活用案も有用なヒントになります。前向きに検討します。

■上殿上水道整備について

問 道の駅周辺から上流に下水管はあるが上水道の整備により、発展が見込める地区に投資の計画はないか。

答 建設課長

現状で上殿地区におけます新たな配水管本管の整備予定はなく、それぞれにおいて町水道への接続、自己水源により対応されていると確認しております。

答 町長

新しい経営戦略をつくっているところですが、結果として、内容としては上水道の料金を上げるということです。老朽化という意味で、管路の更新というのが大きな負担になります。むしろそういった管路が必要ないような新たな多様な給水体制をこれから検討したいという経営戦略です。

確かに上殿地区、本町の中でも人が生活をするあるいは店をつくるという意味では可能性が高い地域だとは思いますが、町自体の財政的な状況を見ると、見込みだけで投資をするというのは、やはり厳しいのではないかと思います。現実には少し御負担はいるかもしれませんが、今の状況で、上水を使って頂くのであれば、自ら引いていただくという方法がないわけではございません。

そういったことも踏まえた上で入ってきていただける事業者さんもおられるのではないかと思います。安芸太田町のこの場所でないと商売ができないという方がやっぱり引っ張ってくるということが、重要なのかなというふうに思っているところでございます。現段階では、これ以上の新たな管路の設置というのは今考えていないという状況でございます。



道の駅付近歩道マンホール



笠井 清孝 議員

問

公共施設の今後のあり方と、6次産業活性化による「新・道の駅」の振興



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

- 一般財産となっている施設の今後については、しっかり検討をしていきたい
- 6次産業の活性化をしっかり行なっていきたい

問 旧殿賀小学校、旧津浪小学校、龍頭ハウス、筒賀食材供給施設についての今後のプランについて問う。

答 産業観光課長

筒賀食材供給施設については、豚熱の関係で、使用出来なかったが、今は、豚熱の検査後に、使用を再開している。

今後は、売却、または、貸付での利用を考えています。

答 町長

ほとんどが普通財産としての扱いのため、基本的に、賃貸、譲渡をする事になります。その場合の、改修等を町の公金を使って実施する事は、基本的にはありません。

更に、地元住民の方と、しっかり協議をして、今後の方向性について考えていきます。



旧殿賀小学校

問 新道の駅の成功につながる要因と考える、今後の安芸太田町の6次産業について問う。

答 町長

安芸太田町産の商品の販売、新商品の開発も考えていきます。

町内だけの商品だけでなく、外注した商品でも、値付けがしっかり出来れば、利益が出ると聞いています。

そして、業者を越えた連携が、どこまで広げられるかが課題だと考えています。



もりみん 木工マグネット



問 水道料金改定と水道事業の将来を問う



津田 宏 議員



こちらのQRコードから中継映像もご覧いただけます。

町長

料金改定、繰入の整理、独自運営、広域連携町民生活に直結するこれらの課題について丁寧な説明と持続可能な運営を進める方針です

◎津田 宏 議員

安芸太田町の水道事業は、人口減少と施設老朽化が重なり、現行料金のままでは今後10年間で約3億4千万円の不足が見込まれています。町は更新費用の見直しや補助金活用を進めつつ、段階的な料金改定と一般会計繰入の抑制を図る方針です。

■水道料金改定の理由と影響について

問 人口減少で収入が減る中、更新費用の総額・財源内訳・負担の変化を町民に分かりやすく示すべきではないか。

答 町から

- ・水使用量の減少により、10年間で約1,500万円の収入減となっています。
- ・老朽化施設の更新費用は40年間で61億円を31億円に圧縮します。それでも10年間で約3億4千万円不足しています。
- ・料金回収率を全国平均の60%に維持し、不足分は基準外繰入で補填します。
- ・13ミリ口径の家庭では、令和8年11%増、令和13年31%増の見込みです。

■一般会計繰入（税金投入）の考え方について

問 繰入の目的（福祉・環境・赤字補填）を区分し、住民に丁寧に説明すべきではないか。

答 町から

- ・水道は公共性が高く、災害時には町外にも供給するため一定の繰入は必要です。
- ・現状は基準外繰入が多く、料金改定により10年間で6割に抑制する計画です。
- ・補助金活用・経費削減・料金体系の適正化で依存度を下げる方針です。

■広域水道企業団に参加しない理由について

問 広域化のメリット（料金安定・災害対応）を捨ててよいのか。

答 町から

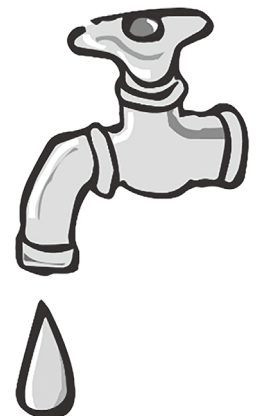
- ・単独経営は意思決定が早く、地域に合った給水方法を検討しやすいです。
- ・広島市から技術職員派遣を受け、技術力向上を図っています。
- ・将来の広域化・官民連携の可能性は排除しないつもりです。

■広島市との広域連携（水源涵養）について

問 上流域としての役割をどう共有し、費用負担をどう協議するのか。

答 町から

- ・水源涵養は流域全体の利益であり、広島市との協議を進めています。
- ・森林整備・流域管理の共同事業、費用負担の在り方については検討中です。



3月定例会の議案採決結果

会期：令和8年3月6日～3月18日（14日間）

予算審査特別委員会へ付託された議案

議案番号	件名	採決
議案第5号	安芸太田町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	全会一致
議案第6号	安芸太田町保育所条例の一部改正について	〃
議案第7号	安芸太田町職員定数条例の一部改正について	〃
議案第8号	安芸太田町職員の旅費に関する条例等の一部改正について	〃
議案第9号	安芸太田町国民健康保険税条例の一部改正について	〃
議案第10号	安芸太田町介護保険条例の一部改正について	〃
議案第12号	安芸太田町企業誘致促進条例の一部改正について	〃
議案第13号	安芸太田町簡易水道事業給水条例等の一部改正について	〃
議案第15号	安芸太田町病院企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	〃
議案第23号	令和8年度安芸太田町一般会計予算	〃
議案第24号	令和8年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計予算	〃
議案第25号	令和8年度安芸太田町後期高齢者医療事業特別会計予算	〃
議案第26号	令和8年度安芸太田町介護保険事業特別会計予算	〃
議案第27号	令和8年度安芸太田町介護サービス事業特別会計予算	〃
議案第28号	令和8年度安芸太田町筒賀財産区特別会計予算	〃
議案第29号	令和8年度安芸太田町内黒山財産区特別会計予算	〃
議案第30号	令和8年度安芸太田町病院事業会計予算	〃
議案第31号	令和8年度安芸太田町簡易水道事業会計予算	〃
議案第32号	令和8年度安芸太田町下水道事業会計予算	〃

予算審査特別委員会付託以外の議案

議案番号	件名	採決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて	全会一致
議案第2号	町道の認定について	〃
議案第3号	町道の路線変更について	〃
議案第4号	安芸太田町過疎地域持続的発展計画の策定について	〃
議案第11号	安芸太田町火入れに関する条例の一部改正について	〃
議案第14号	安芸太田町水泳プール条例の一部改正について	〃
議案第16号	工事請負契約の変更について	〃
議案第17号	権利の放棄について	〃
議案第18号	令和7年度安芸太田町一般会計補正予算（第8号）	〃
議案第19号	令和7年度安芸太田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	〃
議案第20号	令和7年度安芸太田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第21号	令和7年度安芸太田町病院事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第22号	令和7年度安芸太田町下水道事業会計補正予算（第2号）	〃
発委第1号	安芸太田町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	〃
発委第2号	安芸太田町議会政務活動費の交付に関する条例の改正について	〃
令和7年 陳情第17号	太田川総合開発事業（吉和郷ダム）関連の一般県道252号線恐羅漢公園線及び296号吉和戸河内線のルート選定についての要望	採 択
令和8年 陳情第2号	地元水道施設の維持管理を継続するための充実した補助支援を求める陳情	〃

会期:令和8年4月17日(1日間)

4月臨時会 議案

議案番号	件名	採決
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(安芸太田町税条例の一部を改正する条例)	全会一致
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(安芸太田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	〃
議案第33号	令和8年度一般会計補正予算(第1号)	〃

4月臨時会 補正予算関係

議案第33号

令和8年度安芸太田町一般会計補正予算(第1号)について

- 広島県は令和8年度からスタートした宿泊税を活用した市町への交付金について、安芸太田町では、つぎの3事業が採択されました。

事業名	事業費
①「トレイルヘッドあきおおた」推進事業(仮称)～安芸太田町マウンテンライド・ステーション～	27,100千円
②三段峡再生事業	3,000千円
③神楽体験支援事業	4,900千円



【質問】

本事業は需要の裏付け、受け入れ体制、持続可能な財源のいずれも不確実性が高く、将来的に町の財政負担のみが残るリスクを抱えているのではないかと懸念されています。

【町の答弁】

小島俊二 議員 本取組みは広島県と連携し、しまなみ海道で増加しているサイクリスト需要を里山地域にも波及させることを目的としています。今後4年間程度、宿泊税の継続活用を求めるとともに、町内事業者へのヒアリングを通じて受け入れ体制を整備し、連携して事業を進めます。

また、国内約10万人のマウンテンバイク利用者と、広島県に訪れる約202万人の体験型観光客を主なターゲットとした大きな市場を見据え、実現の可能性を踏まえた計画づくりを行ってまいります。

4月臨時会 議員提出議案

発議第1号

- 非核三原則の堅持を求める意見書の提出について

提案者:安芸太田町議会 副議長 津田 宏

賛成者:安芸太田町議会 総務常任委員長 大江 昭典

安芸太田町議会 産業建設常任委員長 影井伊久美

【提案理由】

広島県に位置する安芸太田町においても、被爆の実相と平和の尊さを後世に伝える使命を有している。核兵器を取り巻く国際情勢が厳しさを増す中、非核三原則は今後も守られていかなければならないものであり、国におかれては、核兵器のない平和な世界の実現を願う、被爆地の想いをしっかりと受け止め、非核三原則を堅持されていくことを要望するため、地方自治法第99条の規定により、国へ意見書を提出しようとするものである。

賛否等の分かれた議案の表決結果について

※○賛成 ●反対 ▲退席(議決権放棄)

議案番号等	議員名										
	笠井清孝	田島清	宮本千春	末田健治	大江厚子	佐々木道則	影井伊久美	大江昭典	小島俊二	津田宏	中本正廣
発議第1号 非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	○	▲	○	▲	○	○	○	○	○	○	—

4月臨時会・委員会



【質問】

これと同等の趣旨の発議が、昨年の12月定例会で出されたが否決されました。6月には「原爆被害者の会」の方から陳情を出そうとされているとの情報も入っているが、そのうえでなぜ、この短期間で同じ議会が、そして前回反対した議員も含め、同一の内容の発議を提出されるのか、その整合性・合理性は何なのかお聞きします。

大江厚子 議員

【回答】

12月議会で提出された意見書につきましては、内容的に検討すること自体を許されないと断じる意見書であったように私は感じており、議論を通じて、政策判断の柔軟性を奪うものだとその時は反対しました。議会の立場としては、町民の皆様方の意見も大切ですが、我々はこういう立場だということも理解していただき、このたび、非核三原則には賛成とする意見を示すため、提案・提出させていただきました。

津田宏 副議長

【賛成討論】 ●小島俊二 議員

本意見書案は、過去の歴史と被爆地の想いを踏まえ、非核三原則の堅持を国に求めるものであり、特定の政権や人物を論じるものではなく、地方議会の意見書として極めて適切な内容であると考えます。一方で、私は以前提出された意見書案については、反対の立場をとりました。これは、非核三原則に反対したのではなく、当該意見書案が特定の政治家や政権の動きを直接的に批判する内容を含んでおり、地方議会の意見書としては適切さを欠く部分があると判断したためであります。地方議会の意見書は、特定の政治的立場を主張するためのものではなく、地域住民の代表機関として、国に対して必要な要望を行うものであります。

また、その際あえて反対討論を行わなかったのは、非核三原則という我が国の国是に関わる極めて重要な課題であるからこそ、感情的・対立的な議論に発展することを避け、議会として品位と冷静さを保つべきとあえて考えたためであります。賛否は採決という形で明確に示しつつ、あえて討論は控えるという判断をいたしました。

【賛成討論】 ●大江厚子 議員

昨年の12月定例議会でも賛成討論をさせていただきましたとおり、私は非核三原則の堅持という内容については、一貫して重要であると考えており、賛成の立場です。この国の反核の意思を最前線で訴えてきたのは、広島・長崎の被爆者です。被爆者の方々はこれ以上、誰にも同じ苦しみを味あわせてはならないという一心で語り継ぎ、反核の行動を続けてきました。私たちは、その想いを受け継ぐ者として、被爆の実相を伝えるだけではなく、また、歴史の説明だけに終わらせるのではなく、反核の意思も引き継ぎ、行動していかなければなりません。

核兵器の使用が現実味を帯びる、この国際情勢の中で、戦争に反対し、核廃絶を求めてきた私たち議員が、非核三原則の堅持の声をあげるからこそ、大きな意味があります。被爆者の方々と共に、次の世代へ核の無い世界を受け渡すためにも、今こそしっかりと意思を表示すべき時です。

【反対討論】 なし



1月19日 委員会開催

◎健康福祉課

■委員会開催 1月19日
安芸太田町病院事業あり方
検討に係る住民説明会の状
況報告

病院事業調査特別
委員会

◎教育委員会
教育長との懇談会開催

■委員会開催 4月15日
所管事務調査

子ども子育て・若者
支援対策特別委員会



2月26日 委員会開催
(各隊員からの意見)

◎地域おこし協力隊員からの
主な意見

- ・住民との繋がりがや関わりをもっと持ちたい。
- ・気軽に話せる場や地域のキーマンに繋げていただけるとよい場が欲しい。
- ・OBやOGのサポートもあると嬉しい。
- ・腰を据えて住む場所、古民家などを探すがなかなか良い物件にあたらない。
- ・環境教育に貢献したい。
- ・などの意見がありました。

■委員会開催 2月26日
地域おこし協力隊員との意見
交換会開催

広報・広聴調査特別
委員会

総務常任委員会

委員会開催 1月19日

所管事務調査

◎安芸太田病院
病院の現状と課題について



安芸太田病院 所管事務調査

委員会開催 3月17日

陳情審査

令和7年陳情第16号「へき地医療の支えである看護師確保に向け、広島県立加計高等学校に、5年一貫教育による看護師養成課程の新設を求める要望」

●審査結果…継続審査

令和8年陳情第4号「訪問介護サービスを保障することを求める陳情書」

●審査結果…継続審査



産業建設常任委員会

委員会開催 3月17日

陳情審査

令和7年陳情第14号「免税軽油制度の継続について」

●審査結果…継続審査

令和7年陳情第17号「太田川総合開発事業（吉和郷ダム）関連の一般県道252号線恐羅漢公園線及び296号吉和戸河内線のルート選定についての要望」

●審査結果…採択

令和8年陳情第2号「地元水道施設の維持管理を継続するための充実した補助支援を求める陳情」

●審査結果…採択

委員会開催 3月11日

視察

令和7年陳情第17号「太田川総合開発事業（吉和郷ダム）関連の一般県道252号線恐羅漢公園線及び296号吉和戸河内線のルート選定についての要望」に関して現地確認を実施する。



県道252号線 視察

地方創生調査特別委員会

道の駅再整備事業

工事の進捗状況や、今後の予定についての説明を受ける。

サイクルツーリズムの推進

これまでの取組みや、宿泊税を活用した県への事業提案についての説明を受ける。

地域商社あきおた

令和8年度事業計画についての説明を受ける。



特別委員会開催

議会改革調査特別委員会

委員会開催 3月17日

条例改正

・町特別職や町職員などの旅費が見直されたことにより、議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を一部改正することについて協議する。

・政務活動費の申請期限や収支報告書の取扱いを見直すため、議会政務活動費の交付に関する条例の改正について協議する。

編集後記

広報・広聴調査特別委員会の所属となり、5年が経過しました。

この間、開かれた議会を指して、各委員が協力して、取組みを行ってききました。

広報面では、議会だよりの早期発行、紙面企画の工夫、議会議中継の開始等の取組みを行い、広聴面では、議会報告会の定期開催、広報委員会独自の町内各種団体との懇談会開催等の取組みを行ってききました。

今後、益々住民の皆様に分かり易い議会を目指していきますので、どんなことでも結構ですので、ご意見をお願いします。

小島 俊二



◆広報・広聴調査特別委員会

委員長	影井伊久美
副委員長	宮本 千春
委員	笠井 清孝
	大江 昭典
	小島 俊二